

日吉屋通信

秋色の候、皆様ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、工房の様子や新たな取り組みなどをご紹介する定期便として、「日吉屋通信」を発行する事になりました。季節の節目に、皆様にお届けして参りますので、よろしくお願いいたします。

失われし技術の復活

幕末に流行した和傘の骨の加工技術「松葉骨・桔梗骨」。骨職人が競って腕を磨いた当時、生まれた技術の一つです。工房にて、昔の資料を参考に現在に



蘇らせました。名前の通り、骨の形が松葉や桔梗の花に見える事に由来します。桔梗骨は、二本に割って松葉状にした骨を、さらに隣同士で合わせ、桔梗の花ひらのような形につくります。

桔梗骨の応用

現在、弊社の和風照明「古都里」シリーズにて、桔梗骨の製作技術と意匠を用いたモデルが製作可能です。

*弊社フェイスブックページでは、随時情報を配信しています。



～リアルタイム更新しています～

<https://www.facebook.com/wagasa.co.jp>